



# FITNESS CLUB MANAGEMENT SKILLS TEST

フィットネスクラブ・マネジメント技能検定

## 2020年度 第8回 フィットネスクラブ・マネジメント技能検定 受検要項：3級学科・実技共有

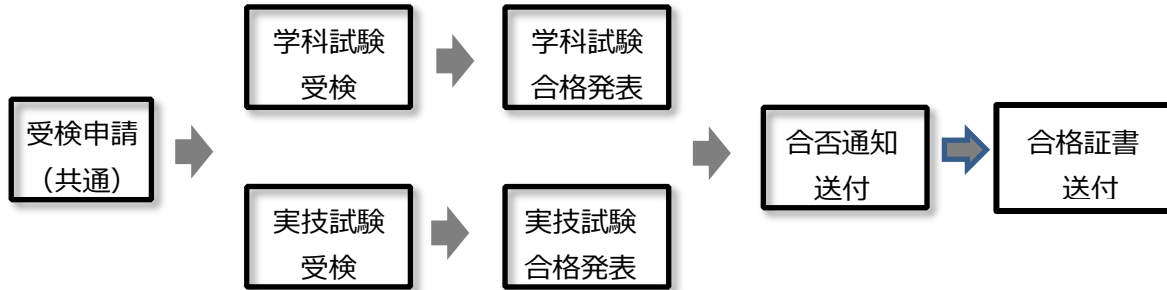
受検申請期間	2020年8月1日（土）～2020年9月22日（火） ※ 締切日の消印有効です。 ※ 受検申請期間外の受検申請書は受理できませんのでご注意ください。
学科及び実技 試験日	2020年 11 月 22 日（日）
開催都市	札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、岡山、広島、福岡、沖縄

受検申請ならびに受検に際しては、この受検要項に記載された事項を遵守し、同意した上で、受検申請手続きを行ってください。

厚生労働大臣指定試験機関  
一般社団法人 日本フィットネス産業協会  
【お問い合わせ】 [info@fcm-test.jp](mailto:info@fcm-test.jp)

## [1] 試験概要

フィットネスクラブ・マネジメント技能検定試験は、厚生労働省より職業能力開発促進法第47条第1項の規定に基づき指定試験機関の指定を受けて、一般社団法人日本フィットネス産業協会（以下、当協会）が実施するものです。



## [2] 試験日程

### 【学科試験】

試験日：2020年11月22日(日)

試験説明時間：14：05～

試験時間：14：25～15：25（60分）

### 【実技試験】

試験日：2020年11月22日(日)

試験説明時間：15：40～

試験時間：16：00～17：00（60分）

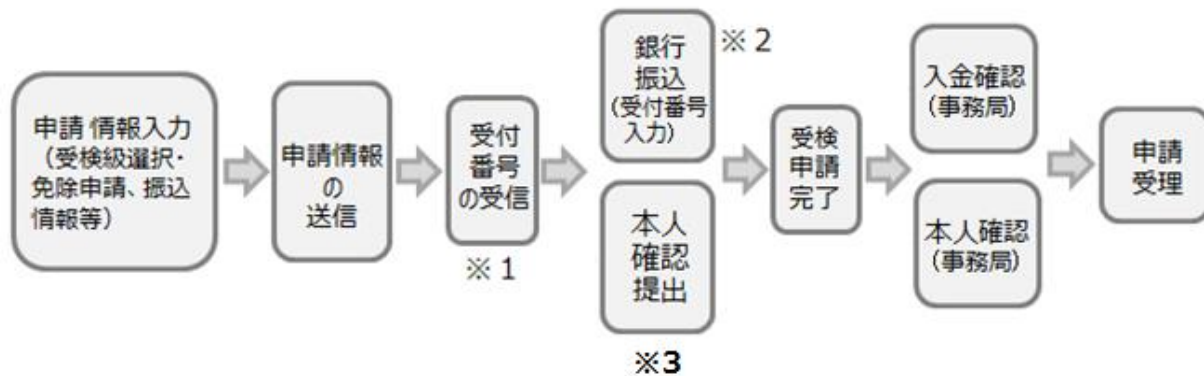
- ※ 受付は、13時35分より開始致します。なお、実技試験のみ受検される方は15時10分より受付を開始致します。
- ※ 学科試験会場には、14時05分までに実技試験会場には15時40分までに入室し、着席してください。
- ※ 指定の時刻までに入室されない場合は、試験に関する説明を受けることができない、または試験設備の確認ができないことがありますので、ご注意ください。
- ※ 何らかの理由により試験開始時刻までに入室できない場合でも、試験開始20分までに入室した場合には、受検することができます。但し、試験終了時刻の延長はできません。

## [3] 受検申請手続

受検申請期間：2020年8月1日（土）～2020年9月22日（火）

受検の申請は、フィットネスクラブ・マネジメント技能検定のホームページ (<https://fcm-test.jp>) より「インターネット受検申請」にて行ってください。

《インターネット受検申請による流れ》



※1 受付完了メールに記載の受付番号は、入金の際に必要です。

※2 2020年9月22日(火)までに入金手続きを完了してください。

また、振込の際、振込依頼人名欄には、受付番号(5桁)の後ろに受検申請者名をご記入ください。

※3 本人確認(氏名、住所、生年月日)画像データは、受付完了メールにアップロード先のURLが記載されておりますので必ず、2020年9月22日(火)までにアップロードを完了してください。

なお、本人確認書類の詳細についてはホームページ上の「お申込方法」内の「本人確認書類の提出」欄を開き、ご確認ください。

何らかの理由によりインターネット申請を行えない場合は、郵送による申請も受け付けています(受検申請期間最終日までの消印有効)。

受検手数料の振込については4頁「[5]受検手数料」を、受検申請書の郵送方法は5頁「[7]受検申請書の郵送方法」をご覧ください。

■受検申請時の記入項目

※ **受検申請情報の入力又は受検申請書の記入は、必ず受検者本人が行ってください。**

- ① 氏名：姓と名を各欄に入力してください。
- ② フリガナ：お名前のフリガナをカタカナで記入してください。
- ③ 生年月日：西暦数字で正確に記入してください。合格時の登録に必要となります。
- ④ 性別：男性は“1”、女性は“2”をチェックしてください。
- ⑤ 自宅住所：住所は正確に入力してください。合格時の登録に必要となります。  
ビル・建物名・部屋番号等を省略しないでください。
- ⑥ 電話番号・メールアドレス：自宅電話番号あるいは日中連絡の取れる電話番号(携帯電話も可)とメールアドレスを記入してください。
- ⑦ 勤務先(学校名)：現在の勤務先又は学校名を入力してください。  
ビル・建物名・部屋番号等を省略しないでください。  
勤務の方は、所属部署名及び電話番号も入力してください。
- ⑧ 受検票・結果通知等の送付先：「1. 自宅 2. 勤務先 3. その他」の中から選択し、該当する番号を入力してください。
- ⑨ 送付先住所：⑧受検票・結果通知送付先で送付先が自宅と異なる場合で、勤務先に発送をご希望の場合は、必ず勤務先・部署名も入力してください。また、ビル・建物名・部屋番号等を省略しないでください。
- ⑩ 受検都市：4頁「[4]試験開催都市」より、受検を希望する都市及び都市コードを入力してください。
- ⑪ 受検資格：受検資格に該当するものをひとつ選び、入力してください。
  - ・2級技能士の方は2級技能士合格通知書記載の合格日及び技能士番号を入力してください。
  - ・6年以上の実務経験を有する場合は、経験期間、所属期間、所属会社名、所属クラブ名を記入してください。
- ⑫ 振込情報：受付番号、振込先(三菱UFJ銀行、ゆうちょ銀行)、振込元銀行名、支店名、振込人名(カタカ

ナ)、振込予定日、振込額をご記入ください。

⑬アンケート：

次の項目を記入してください。

- (a) フィットネスクラブマネジメント関連の実務を経験されている方は、その勤務先の「業態及び職種」を以下の【業態コード】【職種コード】から選択し、記入してください。
- (b) 学生の方は、現在の学校名、学部及び学科を記入してください。

【業態コード】

1. 民間フィットネスクラブ      2. 公共スポーツクラブ      3. 地域総合型スポーツクラブ  
4. フィットネス機器メーカー      5. フィットネスソフトサービス提供会社      6. 保守管理会社  
7. その他

【職種コード】

- a. フロント・事務      b. インストラクター      c. 本社スタッフ      d. 保守管理      e. 管理職      f. その他

(C) 検定を受検するご自身の動機は何ですか。(複数選択可)

1. 組織からの業務命令(義務)のため      2. 上司・同僚・友人知人から勧められたため  
3. 自分の業務に役立っているため      4. 自分のスキルの証明のため(組織内での評価)  
5. 学校等の単位等取得のため      6. 就職のため      7. その他      8. 特にない

(d) 検定を受検するにあたって組織からの支援はありますか。

1. ある      2. ない

(e) 上の質問であると答えた方は以下にお答えください。(複数選択可)

1. 組織が受検費用の全額を負担している      2. 組織が受検費用の一部を負担している  
3. 組織が合格時に報奨金を出している      4. 組織が学習教材費用を負担している  
5. 組織が昇格の要件としている      6. 組織が人事考課の要件としている      7. 組織が能力開発の制度に組み込んでいる      8. 組織が受検を推奨している      9. その他      10. 特にない

■特別な配慮を必要とする受検者

技能検定試験では、障がい等により既定の受検環境条件では受検者の技能を十分発揮することが困難であると考えられる場合、技能検定試験の意義が失われることのない範囲で、試験時間の延長や補助具の使用等特別な配慮を受けることができます。

特別な配慮を希望する場合は、受検申請前に当協会までご連絡していただき、ご相談のうえ、受検申請書を提出していただきます。

なお、受検申請前にご連絡いただけない場合は、特別な配慮が受けられませんのでご注意ください。

注) 特別な配慮をご希望する際は、できるだけ早めにご連絡ください。

**[4] 受検開催都市**

次の都市で実施いたします。

都市	札幌	仙台	東京	金沢	名古屋	大阪	岡山	広島	福岡	沖縄
コード	10	20	30	40	50	60	70	80	90	95

※ 試験会場については、受検票にてお知らせ致します。

※ 受検申請受理後の試験会場の変更は、原則認められません。

## [5] 受検手数料

学科試験 5,000円（税金はかかりません）  
実技試験 5,000円（税金はかかりません）

### ■ 受検手数料の支払方法

#### ・銀行振込

三菱UFJ銀行 市ヶ谷支店 普通 口座番号 0369455  
口座名：一般社団法人 日本フィットネス産業協会

#### ・ゆうちょ振込

振込先銀行：ゆうちょ銀行  
店名：〇一八（読み ゼロイチハチ）  
店番：018 預金種目：普通預金 口座番号：8527228  
口座名：一般社団法人 日本フィットネス産業協会

- ※ 学科試験と実技試験を同時に受検される方は、学科試験手数料と実技試験手数料を合わせて10,000円をお振込ください。また、振込手数料はご自身でご負担ください。
- ※ **振込の際、振込依頼人欄には、受付番号（5桁）の後ろに受検申請者名を必ずご入力ください。**
- ※ 受検申請書を郵送する場合には、振込利用明細書（コピー可）の控えを必ず受検申請書内の所定欄に貼付してください。（オンラインバンク等経由の振込の場合は、振込元の銀行名と口座名義が分かる書類を申請書と共にお送りください。）
- ※ 受検申請受理後は受検者の都合による申請の取り消しや受検の有無に関わらず返金には応じられません。また、次の試験に振り替えることもできません。
- ※ 受検申請期間を過ぎての振込は受理できませんのでご注意ください。

## [6] 免除基準・期限

次のいずれかに該当する試験免除の対象者は、申請により学科試験あるいは実技試験が免除されます。該当される方は、申込みの際、免除を受けようとする試験種別及び一部合格の合格日と受検番号を入力または記載してください。申請がない場合は、免除になりませんのでご注意ください。

試験の免除を受けられる人	免除の範囲
1級、2級又は3級の技能検定において学科試験に合格した者 ※1	3級学科試験の全部
2級又は3級の技能検定において実技試験に合格した者 ※2	3級実技試験の全部

- ※1 2018年度第4回技能検定試験の1級学科試験（平成30年8月26日実施）、2019年度第6回技能検定試験（2019年11月17日実施）の1級学科試験に合格した者及び2018年度第5回技能検定試験（平成30年12月26日実施）の2級または3級学科試験、2019年度第6回技能検定試験（2019年11月17日実施）の1級または2級または3級学科試験に合格した者。
- ※2 2018年度第5回技能検定試験（平成30年12月16日実施）の2級または3級実技試験、または、2019年度第6回技能検定試験（2019年11月17日実施）の2級または3級実技試験に合格した者。

## [7] 受検資格

受検資格は、以下となります。

等級区分	受検対象者
3級	事業所において、実務経験* <sup>1</sup> を有する者又は、これから業務に従事しようとする者

\* 1 実務経験とは、室内プール、トレーニングジム、スタジオ等の運動施設を有し、利用者に提供する事業所及びその運営する会社における実務に携わった経験のことです。

## [8] 受検申請書の郵送方法

郵送による受検申請をご希望の場合、受検申請書類は必ず「簡易書留」または「特定記録」で郵送してください。その際、郵便局で発行される控えは、受検票到着まで大切に保管してください。これ以外の郵送方法にて送付された場合、その到着に関して当協会は一切の責任を負いません（到着確認のお問い合わせにはお答えできません）。

### 【受検申請書送付先】

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-2-3 第3櫻井ビル6F  
一般社団法人 日本フィットネス産業協会 FCM検定事務局  
TEL : 03-5207-2456

## [9] 本人確認

受検申請者には、本人確認書類を提出していただきます。

本人確認書類（氏名、生年月日記載）の画像データは、受付完了メールにアップロード先のURLが記載されておりますので必ず、**2020年9月22日（火）までにアップロードを完了してください。**

\* 本人確認資料の例：免許証、パスポート、住民基本台帳カード（氏名、生年月日が記載されているもの）

## [10] 受検票

- (1) 受検票は、受検申請受理者へ**2020年10月31日（土）**を目途に郵送にて一斉発送いたします。郵便事情等により、到着は多少日数がかかる場合もあります。
- (2) 受け取り次第、受検番号・試験会場・交通機関等を各自お確かめください。なお、受検票で通知された試験会場の変更を行うことはできません。
- (3) 受検票のうち写真票は、顔写真を貼って当日試験会場に持参してください。本人確認と出席確認を兼ねて試験当日に試験会場で回収します。  
顔写真は、縦3.0cm×横2.4cmのサイズで、正面・無帽・無背景の写真（6ヶ月以内に撮影したもの）を貼ってください。写真のコピーやプライベートなスナップ写真の切り抜き、PCで普通紙に印刷した写真等、本人確認用の証明写真としてふさわしくないものは受理できません。
- (4) 2020年11月14日（土）までに、何の連絡もなく受検票が届かない場合は、検定事務局までお問い合わせください。

## [ 1 1 ] 試験問題・正答の公表

試験問題及び正答は2020年11月25日(水)中にフィットネスクラブ・マネジメント技能検定のホームページにて公表する予定です。

## [ 1 2 ] 合格発表

2021年1月26日(火)にフィットネスクラブ・マネジメント技能検定のホームページに受検番号を掲載し発表する予定です。また受検者宛てに合否結果通知書を郵送致します。

※ 受検番号での合格発表となりますので、受検票を紛失しないようご注意ください。受検番号の照会は原則としてお受けできません。

※ 試験の結果に関するお問い合わせにはお答えできません。

## [ 1 3 ] 学科試験及び実技試験の出題形式と試験範囲

### 3級学科試験

3級フィットネスクラブ・マネジメント技能検定学科試験は次のとおり実施します。

【問題数】60問

【出題形式】真偽法(○×式)、四肢択一法、語群選択法

【合格基準】65点以上(100点満点)

### 【学科試験科目及びその範囲】

フィットネスクラブ・マネジメント技能検定試験3級学科試験科目及びその範囲並びにその細目

(1) 技能検定試験の合格に必要な技能及びこれに関する知識の程度

フィットネスクラブ・マネジメントの職種における初級の技能者が通常有すべき技能及びこれに関する知識の程度を基準とします。

(2) 試験科目及びその範囲 : 下表の左欄のとおりです。

(3) 試験科目及びその範囲の細目 : 下表の右欄のとおりです。

試験科目及びその範囲	範囲の細目
学科試験 1. 健康づくり (1) 健康施策の概要と動向  (2) 生活習慣病	健康の概念や健康施策・制度について、次に掲げる事項の概略の知識を有すること。 ①「健康」の概念 ②国民健康・栄養の変遷と現状 ③健康増進施策の概要(健康増進法と「21世紀における国民健康づくり運動」(健康日本21)など)  生活習慣病(NCD)の種類・内容について、概略の知識を有すること。 ①メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群) ②ロコモティブシンドローム(運動器症候群) ③糖尿病 ④脳卒中 ⑤心臓病 ⑥高血圧 ⑦肥満

<p>(3) 栄養・運動・休養</p> <p>2. 運動、トレーニングの基礎</p> <p>(1) 運動生理学の基礎</p> <p>(2) トレーニングの基礎</p> <p>(3) 救急処置</p> <p>3. フィットネス産業概論</p> <p>(1) スポーツ産業概論</p> <p>(2) フィットネスクラブ概論</p> <p>4. 運営業務</p> <p>(1) 店舗事務</p> <p>(2) イベント企画・運営</p>	<p>栄養摂取と運動・休養について、概略の知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①基礎代謝と身体活動量の測定法</li> <li>②栄養素とカロリー</li> <li>③栄養補給とサプリメント</li> <li>④運動と休養</li> </ol> <p>運動生理学について、次に掲げる事項に関する概略の知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①骨格筋の構造</li> <li>②神経系と運動</li> <li>③呼吸・循環系と運動</li> <li>④運動時の代謝・ホルモン作用</li> <li>⑤運動時の水分・栄養分補給</li> <li>⑥加齢と運動</li> </ol> <p>トレーニングについて、次に掲げる事項に関する概要の知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①体カトレーニングの原理・原則</li> <li>②主なエクササイズの特徴 ・エアロビック ・コンディショニング（ウエイトトレーニング、ストレッチなど）</li> <li>③年代別のトレーニングの目的・課題</li> <li>④体力要素別のトレーニング方法（筋力、筋持久力、全身持久力など）</li> <li>⑤体力測定法・運動能力測定法の概要</li> </ol> <p>次に掲げる救急救命処置について、概略の知識を有すること</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①救急処置（RICE 処置）</li> <li>②救命処置（止血法、CPR（心肺蘇生法）、AED（自動除細動器）など）</li> </ol> <p>スポーツ産業一般について、産業特性、産業類型、スポーツ消費者、スポーツマネジメント、将来像などの概略な知識を有すること。</p> <p>フィットネスクラブ一般について、産業史、事業特性、市場環境、需要動向、業態の多様化、主なプログラム種類などの概略な知識を有すること。</p> <p>次に掲げる事項に関し、その仕組み、処理方法、点検方法、取扱い及び法令上の留意点について概略の知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①現金の取扱い</li> <li>②クレジットカードの取扱い</li> <li>③諸届の受付け</li> <li>④本人確認</li> <li>⑤守秘義務と個人情報の保護</li> <li>⑥請求書、支払依頼伝票等の帳票類</li> <li>⑦売上管理システム</li> <li>⑧店舗の5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）、PDCA 管理</li> </ol> <p>次に掲げる事項に関し、その概念、対応方法及び法令上の留意点等について概略の知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①イベントの種類とその目的</li> <li>②イベントの種類と内容・手段</li> <li>③イベントの実行手続き</li> <li>④個人情報の保護</li> </ol>
---	--



<p>(3) サービス説明・見学者対応</p>	<p>⑤緊急時の対応方法</p> <p>次に掲げる事項に関し、その概念、対応方法及び法令上の留意点等について概略の知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①フィットネスクラブの主な施設 (トレーニングジム、スタジオ、プール)</li> <li>②主な商品、サービスの名称とその内容</li> <li>③見学者対応の目的と入会促進</li> <li>④見学者ニーズと見学者心理</li> <li>⑤個人情報の保護</li> <li>⑥緊急時の対応方法</li> </ol>
<p>5. フロント実務</p> <p>(1) 各種会員手続き</p> <p>(2) ショップ販売</p>	<p>次に掲げる事項に関し、その仕組み、処理方法、点検方法、取扱い及び法令上の留意点について概略の知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①チェックイン・チェックアウトの意義</li> <li>②会員証発行の意義</li> <li>③各種手続(入会、退会、休会、予約、キャンセル等)の意義</li> <li>④施設利用ルール(約款)</li> <li>⑤会員情報システムと会員への各種案内・連絡通知</li> <li>⑥個人情報の保護</li> <li>⑦支払い及び利用形態(支払い単位期間、支払方法、利用可能日時、利用施設、利用形態)</li> </ol> <p>次に掲げる事項に関し、その概念、仕組み、対応方法及び法令上の留意点等について概略の知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①商品知識</li> <li>②売り場づくり、商品陳列</li> <li>③販売促進策</li> <li>④商品管理</li> <li>⑤発注処理</li> <li>⑥レジ操作、現金管理</li> <li>⑦防犯対応</li> </ol>
<p>6. 施設・設備の安全確保</p>	<p>次に掲げる事項に関し、その概念、対応方法及び法令上の留意点について一般的な知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①トレーニング機器</li> <li>②ボイラ設備</li> <li>③空調設備</li> <li>④水質管理</li> </ol>
<p>7. 顧客対応</p> <p>(1) 顧客対応と接客の心構え</p>	<p>次に掲げるフィットネスクラブのスタッフの役割と心構えについて、概略の知識を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①フィットネス産業におけるホスピタリティの意義</li> <li>②スタッフの言葉遣い</li> <li>③職場での身だしなみ</li> <li>④電話応対</li> <li>⑤顧客心理</li> <li>⑥顧客満足(CS)とコミュニケーション</li> <li>⑦個人情報の保護</li> </ol>
<p>(2) クレーム対応</p>	<p>次に掲げる事項について、概略の知識を有すること</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①クレームの発生要因</li> <li>②クレームのエスカレーション</li> <li>③クレームへの対応</li> </ol>
<p>8. チームワークとコミュニケーション</p>	<p>次に掲げる事項について、一般的な知識を有すること</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①チームワークの意義</li> </ol>

9. 安全衛生	②報告・連絡・相談の進め方 ③コミュニケーションツールとその長所・短所 （口頭、電話、書面、電子メール等）  職場の安全衛生等に関する次の事項について、一般的な知識を有すること。 ①全衛生管理体制 ②健康管理 ③衛生基準 ④健康増進のための措置
---------	--

### 3級実技試験

3級フィットネスクラブ・マネジメント技能検定実技試験は次のとおり実施します。

【設例課題数】10題

【出題形式】記述形式など

【合格基準】65点以上（100点満点）

#### 【実技試験科目及びその範囲】

フィットネスクラブ・マネジメント技能検定試験3級実技試験科目及びその範囲並びにその細目

店舗スタッフが直面する課題についての事例等に対して選択式または記述で解答していただきます。合わせて、従業員の接客場面についてのイラストまたは画像にて、顧客対応・接客行動について判定し、解答いただきます。

試験科目及びその範囲	範囲の細目
<b>実技試験</b> 1. 運営業務  2. フロント実務  3. 顧客対応	次に掲げる事項について、状況に即して適切な対応ができること。 ①店舗事務（現金・集金管理含む） ②イベント企画・運営 ②見学者対応  次に掲げる事項について、状況に即して適切な対応ができること。 ①各種会員手続き ②ショップ販売  次に掲げる事項について、状況に即して適切な対応ができること。 ①顧客ニーズを正しく理解し、状況に即した適切な接客対応ができること ②クレームを受けた場合に、その内容を正しく理解し、管理者等に取り次ぐことができること

※ 変更がある場合には、フィットネスクラブ・マネジメント技能検定のホームページ上にてご案内致します。

### [14] 法令基準日について

試験問題の解答にあたっては、2020年4月1日の時点で、既に施行（法令の効力発生）されている法令等に基づくものとします。

## [15] 試験当日について

### 【試験当日の持参品】

- ① 受験票（写真票・本人控）※写真票部分には必ず顔写真を貼付してください。
- ② 筆記用具（HB以上の濃い黒鉛筆またはシャープペンシル・消しゴム）
- ③ 計算機（関数電卓及び携帯電話の電卓機能は不可）
- ④ 時計（試験教室に時計がない場合があります。）情報通信機能のある時計は使用できません。
- ⑥ 本人確認のできる免許証や社員証等（本人確認が必要となる場合があります）

### 【受検上の注意】

- ① 気象情報や交通情報に注意し、時間に余裕を持っておこし下さい。
- ② 自家用車・バイクによる来場は認めません。
- ③ 試験教室には試験開始30分前から入室できます。
- ④ 座席は指定席です。試験開始20分前までに指定席に着席して下さい。
- ⑤ 遅刻者の入場は、試験開始後30分までに入室した場合認めますが、終了時間の延長はありません。
- ⑥ 試験開始30分後以降に写真票を回収します。
- ⑦ 試験開始後40分を経過したら退出することができます。試験終了10分前からは退出できません。
- ⑧ 試験時間中は携帯電話等の電源は切って、身体から離して足元のカバン等にしまってください。
- ⑨ 不正行為と認められる行為があった場合は、その場で退場を言い渡します。
- ⑩ 試験時間中に携帯電話等の通信機器を操作する行為は、不正行為と見なしますのでご注意ください。
- ⑪ 他の受検者の迷惑となるおそれがある行為に対しては、中止を求めることがあります。
- ⑫ マークシート方式の解答用紙をボールペンで解答した場合は、採点しません。
- ⑬ 解答用紙を持ち帰った場合は受験無効とします。
- ⑭ 原則として、試験時間中は飲みものをとることはできません。
- ⑮ 試験会場内は禁煙です。
- ⑯ 室内の空調の調整には限界があります。体温調整のできる服装でおこしください。
- ⑰ 天候・災害などによる試験実施状況は、試験前日の16:00と当日の8:00に当検定ホームページに掲載いたします。

厚生労働大臣指定試験機関  
一般社団法人 日本フィットネス産業協会 FCM検定事務局

〒101-0044

東京都千代田区鍛冶町2-2-3 第3櫻井ビル6F

TEL : 03-5207-2456 10:00~17:00 <土・日・祝日除く>

E-mail: info@fcm-test.jp ホームページ : <https://fcm-test.jp>

## [16] その他

試験会場又は受検のための移動途上において、受検者の過失並びに天災に起因する事故・ケガなどについて、当協会では一切の責任を負いません。また、受検者により、故意・過失の区別によらず、試験会場の施設・設備に対する損害又は試験実施運営に障害が生じた場合、弁償の請求をすることがあります。